

11月 給食だより



令和7年 11月 1日
石狩市学校給食センター
TEL: 62-8015
FAX: 72-2223



今月の給食目標

「給食ができるまでを知ろう」

毎日の給食にはどのような人が関わっているのか、給食がどのようにして作られているのかを知りましょう。

秋が深まり、間もなく冬の足音も聞こえてきます。

今月の23日は「勤労感謝の日」です。わたしたちが食べている食べ物は、いろいろな人によってつくられ、届けられています。さまざまな人の労力があるおかげで、わたしたちは食事をすることができています。感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

給食にづくりに関わっている人たち

生産者



野菜や動物などの生き物を大切に育てたり、朝早くから海に出て何日もかけて漁をしたり、どの生産者さんも大変な思いをして食べ物を私たちのものに届けてくれています。

調理員



石狩市の給食センターでは、約40人の調理員さんで4700人分の給食を作っています。毎日野菜を洗ったり、調理をしたり、ご飯を炊いたりなど、力を使う大変な作業をしています。みなさんが食べた後のお皿を洗う作業も、調理員さんがおこなっています。

栄養教諭・栄養士



みなさんが心も体も健康に成長できるように、毎月の献立を立てる中で、新しい献立や季節に合った献立を考えています。また、石狩産の食材を使って、地域でとれる農産物を知ってもらえるように情報発信もおこなっています。

その他にも…



学校で、各クラスの給食を準備してくれる配膳員さんや給食を運んでくれるトラックの運転手さんなど、他にもたくさんの人たちのおかげで給食は成り立っています。

食事の前は「いただきます」、食事の後は「ごちそうさま」を感謝を込めて言いましょう。



食べ物は大事に食べよう

わたしたちが食べている食べ物は、どれも生き物の命をいただいているものばかりです。また、生産者や料理をつくってくれた人たちなど、さまざまな人びとの手を経ることで、毎日の食卓に並んでいます。

食事をする時には、感謝の気持ちを忘れず、苦手な食べ物がある場合には一口でも挑戦して、できるだけ食べるように努力をしてみましょう。

